

中学受験

(演習用)

実戦的解法による

分野別算数 1000

ファイル No. 62

5-R 三元以上の

連立方程式

中受ゼミ G

1

3つの整数  $A$ ,  $B$ ,  $C$  があります。  $A$  を  $B$  で割ると商が 13 で余りが 7,  $C$  を  $B$  で割ると商が 6 で余りが 19 でした。 次の問いに答えなさい。

- (1)  $A$  と  $B$  の差が 283 のとき,  $A$  はいくらですか。
- (2)  $B$  と  $C$  の和を 2 倍したものに  $A$  をたすと 1044 でした。 このとき,  $B$  はいくらですか。

2

ある算数のテストで、A, B, C, D, E, F, Gの7人の点数は次のようになっています。A, B, Cの平均点は、C, D, Eの平均点より3点高く、C, D, Eの平均点は、E, F, Gの平均点より7点高く、そして、A, B, C, Dの平均点は80点でした。

このとき、次の(1)~(3)の問いに答えなさい。

- (1) A, Bの合計点とD, Eの合計点の差は何点ですか。
- (2) D, E, F, Gの平均点は何点ですか。
- (3) 7人の平均点が75点のとき、Dの得点は何点ですか。

3

5個の整数A、B、C、D、Eがあります。AとB、BとC、CとD、DとE、EとAの平均がそれぞれ74.5、87.5、84.5、69、63.5です。次の問いに答えなさい。

- (1) 整数Aを求めなさい。
- (2) AからEの中で、最も小さい整数を求めなさい。